

新シリーズ「地域医療連携室をたずねて」

本紙では、在宅医療推進のために「シリーズ①動き始めた在宅医」として県内の在宅医のグループを紹介し、「シリーズ②連携相手を知ろう」では、在宅医療現場で連携する施設や職種を紹介しました。

第1回

八尾総合病院

取材・レポート

副会長

前川 裕

七月二十六日午後三時過ぎ、協会の事務局とともに当協会理事である藤井久丈先生が院長の、藤聖会八尾総合病院の連携室を取材しました。

まさに地域のコミュニティとしての病院

八尾総合病院は八尾町の盆で有名な富山市八尾町にあり、一般病床一五四床、回復期リハビリテーション病棟四五床、診療科目は十二科にわたる地域中核病院です。同人には脳神経外科のサイバーナイフや女



地域医療連携室

顔と顔の見える関係作りを目標に、地域の医療・福祉機関との連携や治療の継続、療養のサポートなど各種の相談を行っています。総合受付横に隣接され、どなたでも気軽に訪問、相談ができる体制作りを行っています。医師4名、看護師4名、社会福祉士4名で地域の皆さんの健康、在宅支援のサポートを行っています。



- ご紹介患者様の来院報告をFAXにてご案内
●返書結果報告書を郵送
●転院先のご紹介状を作成

地域のかかりつけ医療機関

- FAX、電話、メール等により受診案内・検査予約の申し込み
●ご紹介患者様は紹介状をご持参のうえ来院・受診



八尾総合病院 地域医療連携室

平井さんに「維持期リハはどうされていますか？」と聞くと、「そこが問題です。退院後は在宅で通所リハか訪問リハになりますが、施設と異なり、在宅の場合の主治医探しが困難なことが多いのです。もちろん、施設も不足しておりますが、その意味で、私たち地域連携室は『つなげる事業』な

退院後の維持期リハにどうつなげるか

案内された回復期リハ病棟は一般病棟を改築し、造られてから新しく立派な施設でした。ここに入院し、真面目にリハすれば障害がかなり回復するだろうなと思いましたが、



回復期リハ病棟を見学

連携室のスタッフは医師四名、専任看護師四名、ソーシャルワーカー四名と多い。医師は当然兼任だろうが、なぜそんなにスタッフがいるのだろうとの当方の愚劣な疑問は、地域連携室の質

ISO認証を取得した質の高い連携室

ISO認証を取得した質の高い連携室。連携室のスタッフは医師四名、専任看護師四名、ソーシャルワーカー四名と多い。医師は当然兼任だろうが、なぜそんなにスタッフがいるのだろうとの当方の愚劣な疑問は、地域連携室の質



前川副会長(手前左)と林事務局員に丁寧に説明する連携室スタッフのみなさん。(八尾総合病院:カンファレンスルームにて)

診察受付申込書

Header information for the medical consultation application form, including hospital name, address, and contact details.

Main body of the medical consultation application form, including fields for patient name, date of birth, medical history, and preferred consultation time.

Notes and instructions for the medical consultation application form, such as 'Please bring your insurance card' and 'Please arrive 10 minutes before the appointment time'.

診療受付申込書

受付から診療までスムーズな受け入れ体制を心がけています。近隣の医療機関をはじめ、介護・福祉施設などから患者情報をFAX、電話連絡をいただき、事前受付業務や検査予約など行っています。

またご紹介いただいた患者さまの来院報告、返書報告など行います。



(前列左より) 齊藤智裕先生、増田良一先生、藤井久丈理事、齊藤光和先生、中川看護師長、(後列左より) 松嶋社会福祉士、渡辺社会福祉士、平井社会福祉士、肥後社会福祉士、日水看護師、石庭看護師、村井看護師